



☆どうぞご自由にお持ち帰りください☆

新型コロナウイルスの今後

いつのまにか、秋が深まりつつあります。第二波と騒がれた夏から、ピークは過ぎたものの、持続的に感染者が確認されています。そんな中、経済を回さなければ多くの人が行き詰まってしまうということで、Go To キャンペーンが始まっています。

この間、ソーシャルディスタンスという言葉が定着しました。政府は新しい生活様式を、提案しています。身体的距離の確保（2m〔最低1m〕は空ける）、マスク着用、手洗いの三つです。そして三密（密集、密接、密閉）を避けようとなっています。さらに唾液での飛沫感染がクラスター感染を起こすということで、カラオケと会食の危険が強調されています。



冬場に向けてインフルエンザ感染が流行した場合に、新型コロナウイルス感染と見分けがつかません。できるだけ今冬のインフルエンザの大流行を避けるため、射水市ではワクチン接種が65歳以上は無料となっています。この夏、南半球の国オーストラリアではインフルエンザの流行が例年の10分の1でした。また、毎年夏場に流行する小児の感染症は、ことごとく流行しませんでした。これもコロナウイルスへの感染対策が、多くの感染症に有効であるという証拠です。



これから、人々の移動が再開されます。新しい生活様式を国民一人一人が実行すれば、感染症の流行は最小限に抑えられると期待されます。

新型コロナウイルスワクチンの開発も順調と報道されています。早ければ、アメリカでは年内に、また日本でも来春には、国民全員にワクチン接種が可能となると予想されます。

治療法の進歩により死亡率が、減少しています。第二波は感染者数は、第一波の5～7倍であるにもかかわらず、死亡者数は減少しています。高齢者の死亡率も28%から8%へと低下しました。治療法の改善がなされているためです。レムデシビルとデキサメサゾンの併用療法が有効ということが分かってきました。この冬に向けて、国は、医療体制の拡充をはかっています。

<お近くのクリニックに通院していただけます>

厚生労働省は、病状が安定した方にはクリニックなど「かかりつけ医」での治療を推奨しております。「真生会まで遠い中來ている」「薬をもらっただけなのに待ち時間が長い」と通院にご負担を感じておられる方はお住まいの地域の医療機関にご紹介（逆紹介）させていただくことが可能です。真生会富山病院は地域の先生方と協力し「地域と連携する医療」を提供したいと考えております。逆紹介のご要望は主治医や近くのスタッフにお申し出ください。